

藍住町 議会だより

第46号

平成18年8月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上52-1

電話 (088) 637-3127

FAX (088) 637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



あいずみ商工会納涼祭

CONTENTS

定例会

P. 2

一般質問

P. 4

町民の声・議会のうごき

P.10

june

6月定例会

6月定例会は6月6日から21日までの16日間の会期で開会された。

藍住町手数料徴収条例の一部改正など12議案と、議員提案の1議案を原案のとおり可決した。また、議員提案の請願書1件については不採択となった。

町長提案

- 藍住町税条例の一部を改正する条例の専決処分を報告し、承認を求めることについて…………… 原案可決
- 藍住町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分を報告し、承認を求めることについて…………… 原案可決
- 平成17年度藍住町一般会計補正予算の専決処分を報告し、承認を求めることについて…………… 原案可決
- 藍住町手数料徴収条例の一部改正について…………… 原案可決
- 特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について…………… 原案可決
- 藍住町重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について…………… 原案可決
- 藍住町乳幼児医療費助成条例の一部改正について…………… 原案可決
- 藍住町乳幼児等医療扶助に関する条例の制定について…………… 原案可決
- 藍住町町民農園の設置及び管理に関する条例の制定について…………… 原案可決
- 徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称変更に伴う
徳島県市町村総合事務組合規約の変更について…………… 原案可決
- 徳島県市町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び
徳島県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について…………… 原案可決
- 板野郡障害程度区分認定審査会共同設置について…………… 原案可決

議員提案

- 議員派遣の件について…………… 原案可決
- ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議しBSEの万全な対策を求める請願について…………… 不採択

総体質問

Q 提出議案をもっと分かり易く改善できないか？また、議会活性化のため一般質問の一问一答形式の検討を。

A 出来るだけ分かり易い説明資料を配付するよう配慮したい。質問の形式等は、会議規則等に準じて議会で協議していきたい。

Q 介護保険、税制等の改正により住民負担が重くなった。窓口での相談対応は？

A 問い合わせは増えていく。税制改正に伴うものは、統一した対応が出来るような体制を取っている。

Q 徳島県滞納整理機構への移管には基準があるのか。

A 事細かな規定はないが、納税の意志があるかどうかを踏まえた上で判定委員会にかけて判定をしている。

町からの主な報告

視察研修報告

勝瑞城館跡発掘調査の状況

新たに大規模な庭園跡が発見され、追加指定の申請を行う計画である。また、史跡の有効利用のため今年度中に史跡整備の基本計画を策定したい。



庭園跡発掘の様子

国民文化祭

本町は藍文化と勝瑞城館跡関連の事業を予定。本町の伝統文化を活かした情報発信が出来るように取り組みたい。

大型店舗の出店計画

本年四月に、「ゆめタウン」出店の申し出があった。優良農地の減少や景観の様変わり等について懸念されるが、雇用増進や地域経済の活性化、利便性の向上につながる優良な施設としての位置付け、出店に関し積極的に支援を行っていききたい。

木造住宅の耐震化事業

耐震診断の結果「倒壊または大破壊の危険あり」と診断された住宅を対象に耐震改修助成事業を実施。耐震診断が一〇〇戸、耐震改修は一五戸を予定している。

徳島東部地域市町村懇話会

徳島市長より「広域行政のあり方や行政課題を研究する懇話会（勉強会）を設置したい。」との趣旨説明と要請があった。近隣の市町村と密接な連携や良好な関係を保つことは当然のことと判断し、懇話会への参加を承諾した。

日程

六月二十七日、
六月二十九日

視察研修先

秋田県五城目町
山形県遊佐町
山形県河北町

五城目町では、隣接する町との合併の期日や名称が決まっていたが、合併後の本庁・支所の権限、各町の財産等で合意ができず合併には至らなかった。現在、町・議会・住民が一体となったまちづくりを進めるため「まちづくり課」を設け単

をまちづくりにと公選で選ばれた少年町長・議員が町に提言を行う他、年間五十万円の予算執行権を持ち、公園への植樹や音楽イベントの開催等、多彩な活動を行っている。

河北町では、大変な歓迎を受け、河北町議員同行の上、町の概要や施設の案内、説明を受けた。河北町は、

まちづくりを進めている。町の概要や議会運営等について説明を受け、意見交換を行うとともに、総合交流センター「サハトベに花」、紅花資料館、スポーツランド等の施設を視察し、まちづくりの説明を受けた。

また、河北町とは友好都市として本年十五周年を迎え、今後、ますます活発な交流を行っていくことを確認した。

また、河北町とは友好都市として本年十五周年を迎え、今後、ますます活発な交流を行っていくことを確認した。

追悼演説



故西谷修議員

六月六日、定例会の開会冒頭、去る三月三日に御逝去された故西谷修議員の追悼演説が行われました。

同僚議員の永浜茂樹氏より「子供議会の創設をはじめ、乳幼児医療費助成制度の拡充等を提案され、今日ではその多くが定着、あるいは現実の見通しとなった。」ここに西谷修氏の功績を称え、心よりご冥福をお祈りしたい。」との追悼の言葉が述べられました。

遊佐町は、自立したまちづくりを取り組んでおり「まちづくり再生プラン」「自治まちづくり条例」制定への取り組み等、住民参加協働の施策を行っている。

また、「少年町長・少年議員公選事業」では、若者の力

また、河北町とは友好都市として本年十五周年を迎え、今後、ますます活発な交流を行っていくことを確認した。



研修の様子

町政のことが聞きたい

議員6人が一般質問



小川 幸英 議員

産業振興と雇用対策について

今年八月から操業開始の日亜化学工業について、本町は隣接とはいえ排水路は町に入り準地元企業といえる。LED（発光ダイオード）について町民の多くが詳しく知らないと思われるが、今やLEDについては、野菜のビタミンCを増やす冷蔵庫、夜間の歩行を支援する歩道、境界表示灯、業界最小計量のプロセクター等、大手メーカーの新製品が開発され、LEDの普及は急速に進んでいる。商工

会では七月末に開催される納涼祭において、多様なオブジェ（雪の結晶）を町民に楽しんで貰うように光のイベントを計画しているが、町として今後もっと積極的にLEDに関する展示や講演会、農業や工業に取り入れていく指導やイベントを実施してはどうか。また、日亜化学は来年度より本格的に稼働して百人以上雇用すると聞くが、町民が一人でも多く就職できるような対策はしているのか。議会の冒頭、石川町長が発表した、ゆめタウン誘致構想は、翌日の新聞にも

大々的に報道され県下の注目の的となった。誘致に向けて町を挙げて取り組んでいくとのことであったが、地元の商業者を切り捨てることなく大手商業施設と地元企業や商店が共存できるような施策を考えて取り組んでいただきたい。

LED・関係機関とも相談し、利用推進を図りたい

また、住民の雇用では、既に数名が鳴門工場に採用されており、今後とも町民の優先雇用をお願いしていく。

福祉について

現在の介護保険の入所施設において藍住町民の利用率はどの程度か。今年から実施された地域密着型の介

護保険において今後、他町からの入所が出来なくなると思うが、施設において町民の引っ張り合いになる恐れがあり、認定が甘くなったり、過激なサービスになる恐れがあるがどのように指導していくのか。

また、喫煙、肥満、運動不足が原因の生活習慣病での医療費が一般のそれに該当しない人の四割増になっている。このように増え続ける医療費対策をどのようにしていくのか。特に徳島県は十三年連続で糖尿病により死亡した人の数が全国一位となっている。本町も相当の生活習慣病の人がいると思われるが、啓発も含めてどのように取り組んでいるのか。

また、昨年より学校関連施設は、全面禁煙になっている。役場内も全面禁煙にしてはどうか。

庁舎の全面禁煙は今後、対応を検討していきたい

道路の拡張について

介護保険の認定審査は三町合同で実施し全国一律の基準により訪問調査を行う等しているので藍住町だけが甘いということはないと思っている。また、施設給付を受ける場合、住所地特例制度等がある。事業者に対しても地域密着型サービスの主旨を理解していただき適切なサービスの提供が行われるよう進めたい。

龍池猪熊線、とば作横から南幼稚園の間の道路の拡張について、町民の間から早く拡げて欲しいとの要望が多い。この件は昨年、何回となく質問したが、町として見通しが悪く改良が必要で、用地交渉を行って来た。今後も誠意を持って交渉に当たり、道路整備が出来るよう努力するとの答えばかりで一向に進展の兆しがない。早期に道路整備をしていただきたい。どのように取り組んでいくのか。

道路行政の重要な課題として努力

未改良部分の拡張工事は道路行政の重要な課題とし、地権者の方の協力を得られるよう努力していきたい。



議員 茂樹 永浜

藍住町行財政改革について

国は三位一体改革を進め、地方分権への移行に向けて動き出し、補助金の削減や地方交付税の見直しで厳しい財政状況が続くと予想される。そこで、行政として第四次藍住町総合計画、集中改革プラン策定にと計画推進が説明されているが、行政の一方的な説明と思う。例えば、環境ごみ問題、有料も視野に入れて取り組むとのことだが、そうなれば不法投棄が増加し町の環境が損失する。そこで、山積みになされている町政の課題対応に、行財政問題点も含め、ゴミの分別方法や防災、防犯、福祉対策等、町民の要望も取り入れ、町内会、自治会別に「行政と地域住民対話集会」との対応を。

(町民が主役の町政、対策実現に向かって。)

出来るだけ早い機会に対話集会を

行財政改革の現状報告、集中改革プランの取り組み等を説明し、住民の御意見をいただきたい。また、いろいろな行政課題について住民とひざを交えて議論してみたいと考えている。

「北環状線沿に「交番設置」を

藍住町の人口は合併当時から三倍増にもなり、また、北環状線沿のコーナンに続き県内最大の大型ショッピングセンター「ゆめタウン藍住」の進出は、町民の雇用を含め消費者にも歓迎される町の活性化になると思う。



北環状線沿

防災対策について

反面、県内外消費者流入による車の交通渋滞、不審者の進入等も含め、地域住民と子供の安心、安全確保の観点から北環状線沿に「交番設置」を要望を。

実現に向け、関係方面の方へ要望

交番設置の検討も含めて、十分な対応を願っていたら幸いです。要望をしていきたい。

自主防災組織結成の試みとして五月二十一日、町内一

斉清掃終了後、私の地域でも全員参加で、地元消防団OBの方々、指導の下、消火栓からの放水訓練を実施した。しかし、立ち上げの金具等が古くホースとの結合にも時間がかかったが、水道課、持

参のワンタッチ式スタンドパイプでは、放水がスムーズに行えた。町内にホースも含め設置の支援を。

また、災害時に町民誰もがスムーズに避難出来る場所、経路記入の「地域防災マップ」の作成を。

今後も、効果的な支援に努めて参りたい

自主防災組織の結成支援として、資機材等の物資購入や訓練の実施に対し補助金を交付する制度を作っている。また、防災マップ作成の件は、本年度「洪水ハザードマップ」の作成を行う予定であるので、来年度以降に取り組んでいきたい。

町内公共施設、耐震診断について

完成年度の古い園舎から、抜本的耐震改修を。

計画的な診断・改修が必要

教育施設全般について旧耐震基準の建築物は、計画的な診断なり

改修をする必要がある。今後、財政面を考慮しながら進めていきたい。

子供の悩み(七・八・三) 一一〇番

町内の小・中学生対象に、藍住町社会福祉協議会「心配ごと相談」の枠に毎週土曜日、子供主導の無料電話相談「子供悩み一一〇番」の設置を。また、児童館を活用し社協との連携を取れば児童館の子供達の悩み相談対応にもなる。子供の悩みの内容には、家庭、学校先生、友達、健康、地域社会等とある。そこで石井町にある社会福祉法人、れもの施設長と、臨床心理士で徳島文理大学、心理学助教授の助言もいただいている。社協が主体の事業でも、青少年健全育成の観点、藍住町の未来を託す子供達のため行政の「暖かい支援を」町として可能な支援を検討

社会福祉協議会とも相談をしながら、協議を進めて参りたいと考えている。



木内眞三郎議員

町道整備について

東中富龍池会館横からヨコタ駐車場付近まで非常に道路が傷んでいる。三段目くらいまで、アスファルトが掘りかえっている。三回上へ上へと舗装を繰り返しているのだが、二センチ舗装では、一年経つと表層のアスファルトが飛んでしまっている。

このままの状態では、通行している人に何かあれば補償問題に発展するのではないかな。

道路補修の際には五センチ舗装はしていただかなければ、またはがれるような結果になる。検討をお願いしたい。

また、県から町に移管されているのであれば、管理費はどうなっているのか。県が管理できないから町に

任すというのでは町益にも反するのではないか。この点についても答弁をお願いしたい。

改修方法を検討し改良を実施

御質問の路線は、元の県道一号线、徳島引田線の一部であり、平



収集日以外に搬出されたゴミ

成八年三月に町道東傍示直道線として、徳島県より移管されたものである。県道の移管については、県が新たに高規格の道路等新設を行い、旧道となった道路を境界立会や道路の排水舗装等、町と協議しながら整備を受けた後、町道として管理を行っている。

現場の舗装は、最終、平成十二年度末に道路中央の側溝延長工事と併せて舗装工事を実施した。その後、表層の

アスファルトがはがれた箇所が数多くあり、以前より気になっている箇所でもある。前回の舗装では、アスファルトを上へのせた簡易舗装での施工であった。道路中央部分の側溝付近に勾配をつけて真ん中で水を受けているため、オーバーレイでは傷みが激しくなっているとと思われるので、撤去して新しく舗装を行う場合は、簡易舗装とし、四センチを予定している。

ゴミ収集について

龍池会館の横でゴミを集積しているが、プラスチック、空き缶、空きビン等、とにかく量が多く道いっぱいに広がっている。時給七〇〇円と大変な費用をかけてシルバー人材センターによる監視が行われているが、なかには産業廃棄物と思われる物も入っているような状態である。やはり監視より収集に予算を使っていた方がいい。行政が出来ないのであれば、民間業者に頼んでも片づけていくというような方法が望ましいのではないかな。ゴミの量の多い地域では、直接、西クリンステーションへ持って行っている。そういう方法も考え今後、検討していただきたい。

また、道路法によれば、道路はゴミを置く所ではなく通行のためのものである。町道とはいえ、ゴミを一時的に置くというような許可を出しているのか。この点についても答弁をいただきたい。

夜間の見張り配置やカメラ設置等、検討

シルバー人材センターの委託の件は、時間内の搬出やゴミ分別の指導を行い、完璧とはいえないが、ある一定の成果を得ていることを御理解いただきたい。

また、ゴミ量が非常に多いという件は、この地区の戸数を把握し、戸数が多いようであれば、地元と協議をし、ゴミ集積場を二箇所、もしくは三箇所に分散していく方法で検討したい。西クリンステーションへ直接、地元の方がゴミを搬入するという事については、今後、地元の方と十分協議しながら検討していきたい。

なお、車道や歩道にゴミ袋等の障害物を置くことは、基本的には好ましくないことと考えるが、ゴミの収集については、地元住民の協力をいただかなければ収集は不可能であり、理解いただければと思う。



西岡 恵子 議員

財政の健全化、財源の確保について

過去の議会で石川町長は「一番大切なのは財政再建。財政がしっかりしていなければものも事業も実行出来ない。夢も語れない。第一に取り組む。」と答弁されている。財源確保の点から税収状況・自主財源の確保についてお尋ねしたい。また、税の公平・公正の点からの滞納者に対する取り組みについては。

平成十八年度税収、前年度を上回る見込み
平成十九年度には三位一体改革に伴う税源移譲等により税収は更に増加すると思われるが、地方交付税は厳しく見直され減額される見込みである。自主財源として町税の重要度も増し、その厳正、公

平な執行がこれまで以上に求められてくる。滞納整理の法的措置の執行や徳島滞納整理機構により効率的な処理を進めたい。

学校給食について

昨年よりの地元産米による米飯給食の教育的効果について。また、平成十八年度の実績目標の中に、地域と連携し、子供の食育の充実をはかり地産地消の推進とあるが、この取り組みについて。さらに、給食における食物アレルギーの児童生徒への対応は。

地産地消推進事業推進モデル地域に指定
副食材料の地産地消については、年間を通しての供給等の問題もあり実現に至っていないのが現状である。

食物アレルギー児童への現在の対応は、事前に保護者へ献立表を通知し、それを参考にそれぞれに合った対応をしていたらいい。

文化の振興・国民文化祭準備について

来月十月二十七日から十一月四日に開催される国民文化祭の準備はどのように進められているのか。町民の文化意識の向上につながり、学校教育においても郷土文化の再認識になると考える。積極的取り組みをお願いしたい。

町民総参加の祭典としたい

来年度開催される国民文化祭は、広く町民に協力、参加をいただく町民総参加の祭典としたい。参加方法等については現在、企画委員会等で素案をまとめる段階であり、十分検討していきたい。

子育て支援と幼保一元化について

昭和五十年より本町独自の幼保一元化は他自治体

誇れる施策であるが、今後の展望についてお尋ねしたい。本町の子育て支援はかなり充実しているが保育の低年齢化、長時間化も増加傾向ではないかと心配している。子供を親に返す方策、子育て中の親の孤立化の防止等、今後ますます保育所・幼稚園・ファミリーサポートセンター・児童館の連携が重要と考えるがいかがか。

数々の制度を住民の方が利用されている

幼保一元化の今後の展望は、行財政改革との関連があるが、良い点は継続していく方向で考えている。

また、保育所で開放保育を行っているが、今後の課題は、保護者に子育ての大切さ、子育てが大きな仕事であり、本当に素晴らしいと認識していただけたことの手助けであると考えている。

ゴミの発生排出抑制について

ゴミの減量化は三R（リデュース・リユース・リサ



雑誌リサイクル役場内での取り組み

イクル）と分別の徹底である。燃やせるゴミの内、紙くず類（雑紙）は何パーセントを占めているのか。これを資源化することは減量化につながるかと考える。

また、事業系ゴミの分別は出来ているのか。燃やせないゴミの内、プラスチック、ビニール類等が多いが収集日を増やせないか検討をお願いしたい。

雑紙は可燃ごみ全体の約三五パーセント

雑紙を分別化し、リサイクルすることでごみの減量化に大きな成果を上げることが予想される。住民の協力が必要であり、今後、検討していきたい。

の状況が非常に悪いため、許可業者に対し文書で指導する予定で進めている。

燃やせないゴミの収集日の増加は、収集体制等の問題はあるが、今後、燃やせないごみが増加していけば、慎重に検討していきたい。

エコスタイルについて

昨年度の実績と今年度の目標について。また、県ではエコスタイルに藍染め製品を取り入れているようだが本町での取り組みについてお尋ねしたい。

昨年同様、温暖化防止に努めたい

平成十七年度の電気使用料と昨年度を比較すると約二〇〇万円の減額となっている。本年度における数値目標の設定は、気温の関係もあり困難であるが、昨年と同様エコスタイルを実施し、温暖化防止に努めたい。

藍染めについては、今後も更に意識の向上を図り、PRに努めて参りたい。



喜田 敏夫 議員

「集中改革プラン」は誰のため?

今回、示された「集中改革プラン」では、これまで

役場でやってきた仕事を再編・整理・廃止・統合していくとあるが、今日までやってきた仕事を全面否定するのか。「住民への福祉サービスに絶対欠かせない」ものもあるはずだ。それらは「充実・強化」していくべきではないか。

指摘も十分踏まえ行財政改革を進めたい

平成十六年度から十八年度の三力年をかけた行財政改革大綱、並びに実施計画に基づいた行財政改革を行っている。今回の集中改革プランはその行財政改革大綱・実施計画を基に策定をした。住民サービスの低下があつ

てはならない等の指摘も十分踏まえた上で、今後とも行財政改革を進めていきたい。

「徳島東部地域市町村長懇話会」は合併が前提

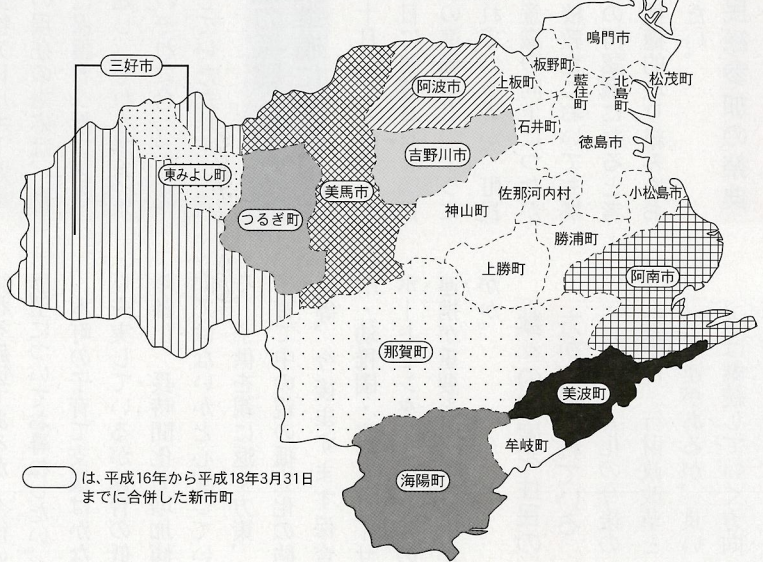
昨年十二月議会で石川町長は原徳島市長の呼び掛けに対して「板野郡合併検討委員会」と相談しながら対応していくと言っておりましたが、今回の「懇話会」への呼び掛けに上板町、板野町が外れているが、このことに石川町長はどのように対処するのか。またこの「懇話会」は「合併を前提としない、あくまで勉強会である」と位置付けているというが徳島市長は「40万人構想」を打ち出している以上、合併が前提となっているのは明らかである。町長はどのように位置付けて

「懇話会」に参加するのか。懇話会が合併に即つながらるものではないと考える

行財政の効率化、環境問題、教育行政、さらには災害時の危機管理体制制など考えると近隣の市町村との密接な連携や良好な関係を保つことが必要と判断し、懇話会への参加を承諾した。経費削減につながるり広域で出来ること

県内の市町村合併の状況

(平成18年4月1日現在)



は、平成16年から平成18年3月31日までに合併した新市町

は検討し、効率的な行財政運営へ研究を進めていきたい。なお、懇話会の中に2町が外れていることについては、徳島市と隣接している町村に対して声をかけたということも聞いている。

「少子・高齢化」は社会保障システムの崩壊

少子・高齢化が予想を上回るスピードで進んでいる。

政府の少子化対策も「児童手当の引き上げ」や「第三子から保育料を無料にする」など小手先の対策では「空回り」に終わってしまった。二〇〇五年度の出生率が一・二五と過去最低を記録した。徳島県は青森県とならんで一・二一と全国最低の出生率であった。このままでは年金や健康保険など社会補償制度の支え手が減少し崩壊してしまうのではないかと、何か町独自でできる対策はないのか。

国レベルで考えていかなければならない問題

出生率低下の原因として、未婚化と晩婚化、教育にお金がかかる、経済的に余裕がないから、仕事をしながら子育てするのが困難等の意見が世論調査で明らかになっている。

いずれにしても、若い人達が夢を持てるまちづくりについて地道な努力を重ねていかなくてはならないと考えている。

過剰店舗で「共倒れ」?

徳島北環状線沿線の新居須地域ではすさまじい勢いで開発が進んでいる。場外馬券場、大型家電店、建設中のコーナンに続いて「ゆめタウン藍住」の出店計画を発表し、町としても組織をあげて支援していくことを発表した。この沿線の北島町では既に「フジグラン」が営業している。さらに大型家電店が進出する計画が新聞に発表されている。これだけの大型量販店が林立すると「共倒れ」などの心配はないのか。また、道路事情についても既存の道路で混雑を捌ききれぬのか。町道整備など早めの対応をしておく必要があるのではないかと。

商工会等・今後、様々な協議の中で対応したい

交通渋滞の解消については、近隣に江ノ口新居須線、徳島引田線、檜藍住線、堤防上の徳島土成線等もあるので、公安委員会等と協議しながら信号機の調整、交通整理員の配置等を開発業者と協議し解消に努めていきたい。



議員 茂 林

介護保険改悪の影響

小泉内閣の五年間は、医療や年金の連続改悪で弱者いじめであった。「いくら頑張っても自立ができない人たち」はいる。その人たちが温かい手をさしのべるのが社会保障であり、国や地方政治のあり方だ。

昨年十月の介護保険改悪による居住費・食費の自己負担化による町内の施設の影響はつかんでいるか。

介護保険の改悪は、保険料の引き上げと利用者の負担は増え、施設の報酬は減り施設運営に支障をきたす改悪だ。県社保協のアンケートでは、介護施設を退所した理由が介護保険の改悪であった。この結果をどのように考えているのか。介護保険の実態はお金が必要ならば介護が受けられない

い。困っている方を救済する制度になっていないが、町として、弱者を救済する手立てはないのか。

町の取り組みは制度の中での対策ということでは考えている

町内では自己負担の増加の影響による施設退所は、今のところ聞いていない。食事費用額として月平均約八〇〇万円の給付であったが、十月以降は特定入所者介護サービス費として月平均二四〇万円の給付となっている。なお、低所得者には負担の増加を抑制するよう配慮されている。

農業振興と農地防災事業

農家にきれいな水を送る農地防災事業は、当初予算

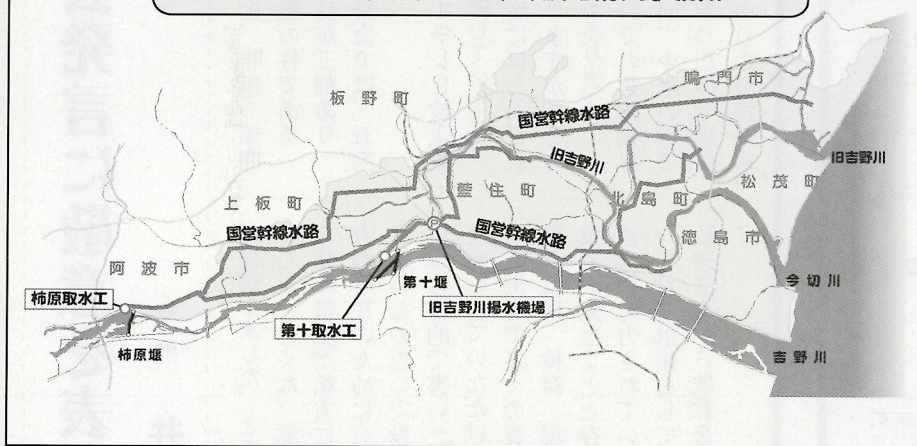
五五〇億円から一、三一〇億円と工事費用が二・四倍完成も十四年から二十三年に伸びた。この間、農業の状況は、農業生産所得が減少の一途をたどっている。自民党政治が国民の食を大切にしない、農家を大切にしない農業政策の結果だ。農地防災事業と農政政策とは矛盾している。

農地防災事業で藍住町の財政負担はいくらか、その返済方法は。用排施設や水路の補修を重点に行えば、工事費用も安く済む。農産物の輸入拡大を抑えること。今、鳴門市、北島町、松茂町では旧吉野川の下流域から水を取水し、水道水として使っている。柿原堰や第十堰

から取水し、農家と同じようにきれいな水を送るべきだ。農地防災事業の幹線水路を使えば、新たな費用負担は必要ないと思うが。農地防災事業 本町負担額五億四千五百万円の予定

事業目的は、農業用水の幹線水路や末端用水路の整備、それによる水質改善、機能回復、塩害の防止等とされている。返済方法は事業完了後、起債をし、借入先の条件にもよるが、据え置きして十五年間で元利均等払いになると思われる。国営農地防災事業における農業用水より上水道等の転換については、農業用水の使用が唯一の目的と聞いている。

国営総合農地防災事業 吉野川下流域地区 計画路線図
中国四国農政局 四国東部農地防災事務所



公共下水道事業の見直し

今、進めている公共下水道事業は、周辺自治体の汚水を一箇所に集めて処理し、完成まで十年、二十年と長い年月がかかり、二市四町で二、〇〇〇億円もの莫大

第2期以降の事業は慎重に判断したい

人口密度の低い、地形の高低差が激しい地域では合併浄化槽の方が経済効果や投資効果が高いとされている。本町は面積が狭く、平坦で、全域に宅地化が進んでいるため下水道の整備が適していると考えている。公共下水道は川や海等の公共用水域の水質保全と、生活環境の改善を図っていく重要な施設である。財政状況を十分見極め、一層のコスト削減に努め、効率的な整備を進めていきたい。

議会のうごき

5月

- 7日 勝瑞城館跡まつり
- 8日 議会だより編集員会
- 9日 山梨県韮崎市議会視察研修
来庁（幼保一元化）
- 10日 議会全員協議会
- 14日 四国横断自動車道建設促進
決起大会（徳島市）
- 18日 板野郡町議会議長会定例会
（板野町）
- 23～24日 第31回町村議会議長研
修会（東京）
- 25日 京都府久御山町他2町議会
視察研修来庁（幼保一元化）
- 30日 議会運営委員会

6月

- 2日 藍住町福寿連合会第47回定
期総会
- 5日 2006年国民平和大行進
- 6日 6月定例会開会
議会全員協議会
観光物産協会通常総会
- 8日 板野防犯連合会総会
（板野町）

7月

- 10日 板野東部消防組合議会第1
回臨時会（北島町）
- 11日 県議長会理事會・事務局長
会合同会議（徳島市）
- 29日 あいずみ商工会納涼祭
- 14日 6月定例会一般質問
- 27～29日 議会議員視察研修
（秋田県・山形県）
- 21日 6月定例会閉会

町民の声

活発な議会発言に敬意を表す

乙瀬 井上常男

二月十日の徳島新聞によると、昨年一年間の県内市町村議会で、議会活動の柱である一般質問を一度もしていない議員が三割あり、改選から二年九ヶ月の藍住町議会では、五割もあると報じています。

藍住町では、議会の都度A1テレビ放送や議会、だより等でその状況を公開しています。議員の一般質問は定例会の度にほとんど欠かさず発言されている方もありますが、その反対に一度も質問されない方もあります。

数年前、議員任期中の定例会での質問状況の調査では、多い方では数十回、少ない方では一・二回、全くゼロの方もあったので議員名を秘匿し数字のみを議会だよりの町民の声

に投稿しました。ところが忽ち、男の声で「いらんこと書くな、覚えておれよ」等といやがらせの電話が私方になりました。私は議員の方が町民のために有意義な活動をしてきた、きたいとの思いで投稿したもので決して個人攻撃の目的で書いたものでないことは、その文面を見ていただければ明らかです。

定例会で多くの質問をされている方は、資料の収集、検討、現地視察等、それ相当の勉強で大変なことと存じます。町民の利益のために御努力されていることは私達もよく分かっています。その方々に対して私達は心から敬意を表します。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関するご意見をお寄せ下さい。

*** 投稿規定 ***

- 1 住所・氏名・電話番号を明記。
- 2 掲載時に匿名を希望する方は申し出て下さい。
- 3 字数は500字以内。
- 4 投稿者の多い場合には、掲載日を調整する場合があります。

*** 定例会案内 ***

次の定例会は9日です。次号は11日に発行します。
●お問い合わせ… 議会事務局 ☎637・3127

*** 本会議を傍聴しませんか ***

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越し下さい。なお、傍聴席の定員には限りがありますのでご了承下さい。

編集後記

夏休み中の子どもたちにとって、待ちに待った梅雨明けで、海水浴場やプールが一気に賑わいを取り戻している。今は子どもが親を殺したり、親が子どもを殺したりといった事件が相次ぐ病んだ時代である。勉強も大事であるが、夏休みくらい自然の中で大いに遊んで、心も体も伸びやかに育ってほしいと願う。私たちが子どもの頃、海や山での遊びを通して、教室では得られない多くのものを学んだ。その事をすっかり忘れて子どもにも勉強ばかり押し付けるのは大人のエゴではないか。

この号が出る頃には親子で夏休みの宿題に大忙しの頃であるう。

議会だより 編集委員会

- | | |
|-----|-------|
| 委員長 | 林 茂 |
| 委員 | 江西 博文 |
| 委員 | 西岡 恵子 |
| 委員 | 喜田 敏夫 |